



園だより 12月号

「喜びのとき」

芝浦アイランドこども園
平成28年12月1日発行

早いもので12月、師走を迎えました。寒い季節ですが、クリスマスという大きな楽しみの月でもあります。街中もイルミネーションに溢れクリスマスソングが流れ、寒い中にもどこか“わくわく”と心温かな気持ちになります。子どもたちの12月の歌にも、冬の季節の歌やクリスマスの曲が流れてきます。温暖化の昨今ですが、先月下旬には、空からうっすらと雪が舞い落ち、沿道の木々にベールのように白く積もっている景色が見られました。東京で霜や雪、つららに出会うことが少なくなっていることもあり、とても貴重な経験になりました。

「あさ、雪だったね」「また降るかな」、「雪、さわったら冷たかったよ」、「雪だるま、作りたいね」寒い窓ぎわでのお友だちとのおしゃべりが、雨に変わった外を見ながら続いていました。「外は寒いから、は～つてすると白くなるよ」、「は～つ」寒さを楽しんでいました。冬という季節にだけ体験できることが沢山あります。こんなに小さな年齢から、四季を感じながら過ごしています。

そして、クリスマスを待っている間にも新年の準備が始まります。日本古来より、12月13日「正月事始め」という行事があります。1年の感謝の気持ちを表し片付けをして新年を迎える準備のことで、ニュースで見るお寺の“すす払い”や“針供養”などが当たります。子どもたちにも目や耳から行事が受け継がれていくことでしょう。

さて、11月中旬から始まった園庭工事は、12月中旬まで行います。工事の様子を眺めながら、子どもたちは、大いに楽しんでいます。真近に見るショベルカーの迫力ある動きを、上から見たり下から見たり乳児さんも幼児さんも釘づけです。2階からは、そのショベルカーの働きとぼこぼこになった園庭を見ることができます。もうすぐ園庭の一部にゴムチップが埋められ、お化粧直しを終え、お目見えします。これで風の強い日の砂埃の悩みが緩和されます。

(園長 宇野雪枝)

- 1日(木) 安全指導
- 9日(金) 英語(4歳児)
- 10日(土) お楽しみ会(0歳児～3歳児)
- 13日(火) 体力向上プログラム(5歳児)
- 15日(木) 体力向上プログラム(4歳児)
- ほっとするコーヒーやさん
- 16日(金) 英語(5歳児)
- 20日(火) クリスマス誕生会・消火避難訓練
- 22日(木) 幼児教育終了 終業式
- 28日(水) 通常保育終了日

- 内科健診 7日(水) 0・1歳児
- 14日(水) 0・2歳児
- 身体測定 8日(木) 0～2歳児
- 12日(月) 3～5歳児



ほっとするコーヒーやさん

12月15日(木) 16:30～19:00
2F7レコナで
お待ちしております!

21日(水) 園庭開放



園でも年末は、子どもたちが自分たちのお部屋やロッカーなど、いつも使用しているところを中心に大掃除をします。雑巾の絞り方や、綺麗に埃を拭くことを学びます。クラスの一員としてみんなで取り組んでいきます。「きれいになって気持ちがいいね。」「お手伝いしてくれて助かった。」このさりげないことばがけが、人から頼られている必要とされていると感じることにつながり、クラスの(家族の)期待に応えたいという責任感が芽生えてきます。お手伝いの後は、「ありがとう」の感謝のことばを忘れずに。「ありがとう」とまわりの大人や家族から感謝される経験を積むことで自分が大切にされているという自信を持ち、自己肯定感を高めていくことができそうです。

お手伝いする中で大人が手を出した方が早く済ませることが出来る場合もジッと待ってください。お手伝いを習慣化するにはこの待つということと「最後までできた」の達成感を持たせることが大切です。そして、子どもたちの頑張りや長所が役にたつと感じられる褒め方をしてあげてください。



- 0歳児：保育者や友達と一緒にたくさん身体を動かして遊ぶ
指さしや喃語といった表現を保育者に受け止められ、思いを表現することを楽しむ
- 1歳児：保育者も加わりながら友だちとのかかわりを楽しむ
保育者や友達と歌ったり、体を動かしたりして楽しく遊ぶ
- 2歳児：気温の変化を感じながら、戸外で身体を動かしたり、冬の自然に触れ興味を持ち遊ぶ
手洗い・うがいを意欲的にやってみようとする
- 3歳児：好きな楽器を奏でたり、歌をうたったりして、音楽に親しむ
保育者や友達とイメージを共有しながら、簡単なごっこあそびを楽しむ
- 4歳児：1年の締めくくりの月であることを知り、自分たちの身の周りを整頓したり掃除したりすることによって、きれいにすることの気持ち良さを味わう
身近な人との関わりの中で、愛情を感じ、思いやりの心をもてるようになる
- 5歳児：遊びの中で、様々な製作を主体的に楽しみ、充実感を味わう
自分で遊んだものの片付けだけでなく全園児で共有している場所の片付けにも気づき、みんなの為に役立つことの大切さを知る
- 一時保育：クリスマスの歌をうたったり、クリスマス製作し、楽しい雰囲気を味わう
保育者と一緒に簡単な食事のマナーを身につける



幼児の収穫感謝の会で、10年以上前に話題になった本「世界がもし100人の村だったら」をお話しました。世界には63億人の人がいますが、もしそれを100人の村に縮めると、

- 100人のうち52人が女性、48人が男性、30人が子どもで70人が大人、そのうち7人がお年寄り
- 20人は栄養が十分ではなく、1人は死にそうなほど、15人は太りすぎ
- 17人はきれいで安全な水を飲めません
- 14人は文字が読めません



「あなたと違う人を理解すること、あるがままに受け入れること、そういうことを知ることがとても大切です」子どもたちには、周りにいる人たちだけでなく世界の人たちの状況についても、見聞を広めていって欲しいと思います。クリスマス・お正月のごちそうは「自分の食べられる分だけを残さずに」をお家でも、大人もお願いします。